

おおがたん通信

地域ぐるみで子どもの学び・育ち・心を育てます。

大潟村教育委員会発行 第4号



大潟村の皆さん、こんにちは。大潟村コミュニティ・スクール マスコットキャラクターの「おおがたん」です。

昨年度に引き続き、この「おおがたん通信」で、コミュニティ・スクールの取組を皆さんにお伝えします。

令和3年度の学校運営協議会の委員の皆さんを紹介します。

◎部会長 ○副部会長

大潟村コミュニティ・スクール 学校運営協議会委員

会長 藤井 真 副会長 藤原 宏之

こども園部会	小学校部会	中学校部会
◎齊藤 幸子	◎藤原 宏之	◎藤井 真
○金子 明子	○伊藤 譲	○佐野 潤
今野いずみ	土田 崇裕	仁木富峰也
石黒みぎわ	大沼 葉子	藤平 利夫
戸嶋 春香	丹野あすか	千代 静恵
西川 紀暁	藤村 幸	三浦 早苗
齊藤 明裕	池田 昌弘	石川 歳男
小澤 睦 (こども園長)	三浦 智 (小学校長)	安田 和人 (中学校長)

あいさつ運動と「ながら見守り」にご協力ください。

学校運営協議会では、子どもたちが、地域でも元気に挨拶ができるよう、令和元年度から“あいさつ運動”に取り組んでいます。

子どもたちの元気なあいさつは、村を元気にします。地域ぐるみで、“あいさつのできる子ども”を育てていきましょう。

また、買い物や犬の散歩、花の水やり等の日常活動を行う際、防犯の視点をもって地域の子ども見守る「ながら見守り」にもご協力をお願いします。



7/12のあいさつ運動の様子



8/30のあいさつ運動の様子

こんな子どもを育てます！大潟こども園

教育・保育目標	キラッと輝く大潟っ子 「かかわる力」 「たくましい心と体」 「豊かな感性」
めざす子どもの姿	①身近な人とかかわり、元気いっぱい遊ぶ子ども ②自分に自信をもち、あきらめずがんばろうとする子ども ③自然の変化や不思議に気づき、表現する子ども
幼児期に育てたい 資質能力	やってみようとする意欲



こども園部会 7/19(月)

～こんなご意見、話題がありました～



子どもたちはどんな絵本が好きですか。また、絵本の貸し出しはどうしていますか。

(保育参観をして…) 保育者が手厚くかかわり、子どもたちもゆったりと過ごしていました。園舎内がきれいで、子どもの作品や季節を感じる掲示がとてもよかったです。

つい、悪い言葉遣いをしてしまう子どもに園ではどのように対応していますか。

(成長につれ体が固くなる…という話題で) 発達段階であるべき体の動きをせずに成長してしまうことが原因です。改善のために、体が再学習する場を作ることが必要です。今日の保育の中でそのような動きができる工夫をされていたと思います。

壁や家具にクッションをつけていて安全面にしっかりと配慮されていました。子どもたちがアクティブに遊んでおり、子どもたちから元気をもらいました。



学校教育目標	豊かな心で、たくましく、 夢に向かって学び続ける子どもの育成
めざす子どもの姿	① 考えを伝え合い、共に学びを深める子ども ② 健康で、明るいあいさつができる子ども ③ 思いやりの心を持ち、あきらめずにがんばりぬくたくましい子ども
育成を目指す 資質能力	○かかわり合う力 ○聞く力・話す力



小学校部会 7/21(水)

～こんなご意見、話題がありました～



他校との交流の機会がもっとあればいいと感じます。コロナ感染症が収まったら検討してほしいです。ICTの活用もできるのではないのでしょうか。

(自転車の乗り方について) 4月に学校で交通安全教室を開催していますが細かいところまでの指導は難しいと感じています。危険な乗り方も見られるので、村民一体となって声掛けをしていきたいと思っています。

園・小・中の共通実践事項である3つのルールの取組は素晴らしいと思います。この取組については保護者へも発信して、ぜひ家庭の教育力を高めるきっかけにしたいです。また保護者アンケートなどで取組に対する評価も行うといいのではないのでしょうか。

地域の伝統芸能にふれ合う機会をつくってほしいです。中学校では百姓踊りを体験します。その体験前に見学する時間を設けるなど、小学校で地域の伝統にふれる機会があるといいと考えています。



学校教育目標	高い志と思いやりの心を持ち、 自ら学びたくましく生き抜く生徒の育成 ～笑顔と感動のあふれる大潟中～
目指す生徒像	①自ら学び、表現できる生徒 ②高い志を持ち、凡事を徹底できる生徒 ③思いやりの心を持ち、仲間と共に励む生徒
身に付けたい 資質能力	探究心・行動力・協働性



中学校部会 6/30(水)

～こんなご意見、話題がありました～



学校では端末の家庭への持ち帰りも始まっています。地域ぐるみでICT活用も含めた子どもたちの学びを支えていけたらと考えています。

(大中キラキラ塾での浴衣の着付けの話題から…) 村の力や地域の素材をどんどん学校に活用してほしい。

(PTA 授業参観から…) 村の特産品を考え、試行錯誤した体験を保護者の前で発表するという授業で、生徒たちがいい経験をしていると感じました。村民へのアピール、企業とのタイアップや役場の意見を聞くなど今後活動の幅が広がりそうだと感じました。子どもたちの豊かな発想を大切にしていけるといいと思います。

家庭と学校が連携した3S(炊事・洗濯・掃除)は素晴らしい取組です。ぜひ続けてほしいと思います。

